

「不動産取得や居住地選択に関する 情報の取得・活用に関するアンケート」 の調査結果

国土交通省 政策統括官付
地理空間情報課
令和7年10月

- 「不動産取得や居住地選択に関する情報の取得・活用に関するアンケートの集計結果を取りまとめましたので、ご報告いたします。
- 今回の調査結果は、「不動産情報ライブラリ」が今後も継続して利用されるサービスとなるための施策の検討に活用させていただきます。
- 調査にご協力いただきましたモニターの皆様には、深く感謝申し上げます。

調査期間:令和7年9月5日から9月25日まで

対象者数:1,073名

回答者数:1,016名

回答率:約94.7%

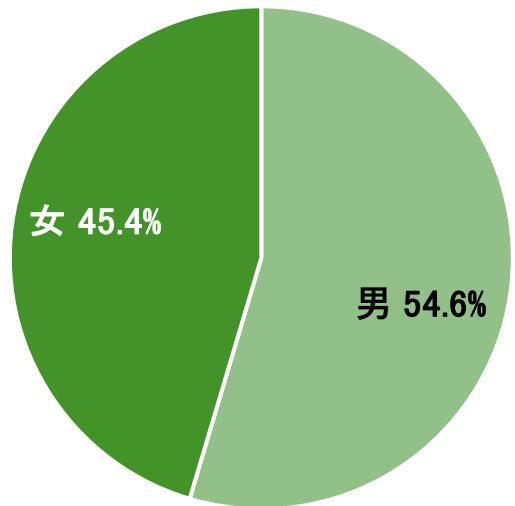
ご協力ありがとうございました！



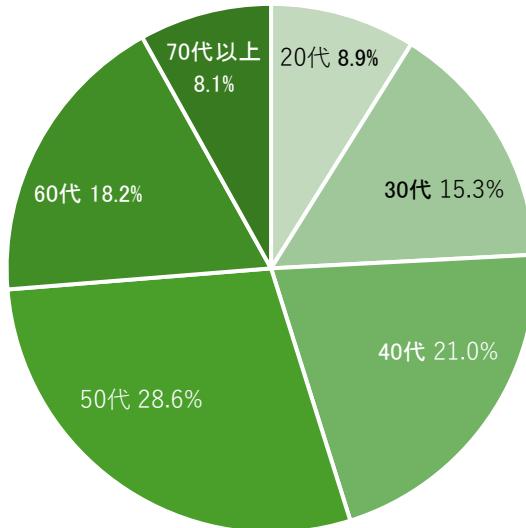
不動産情報ライブラリス

回答者の属性

性別

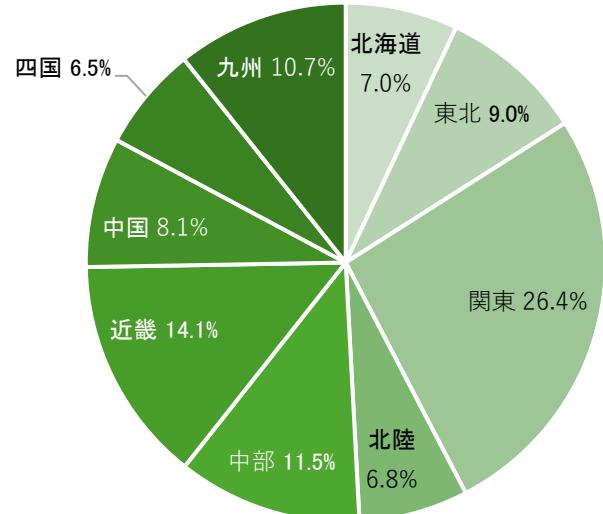


年代別

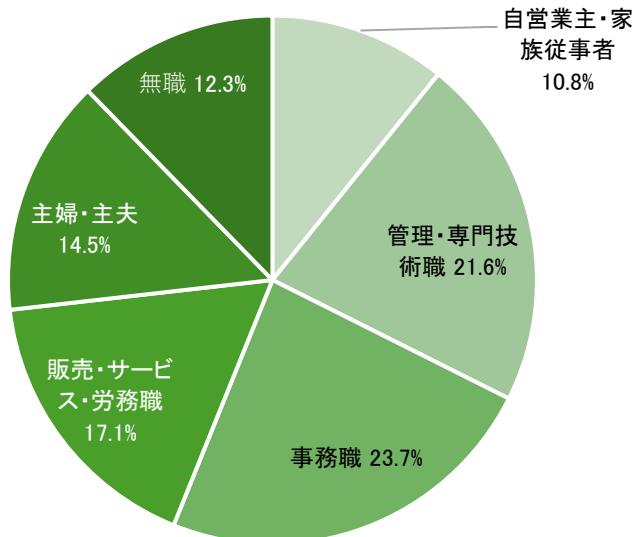


全てn=1016

ブロック別



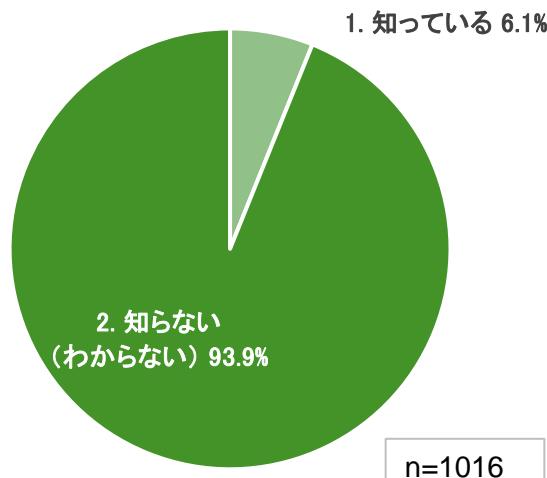
職種別



不動産情報ライブラリの認知度

(問1)

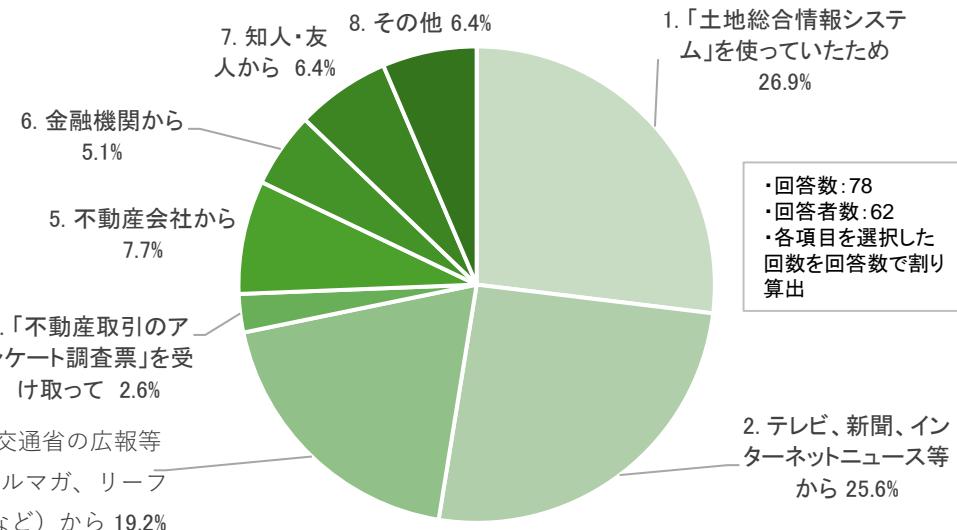
あなたは不動産情報ライブラリ
(<https://www.reinfo.lib.mlit.go.jp/>)を
知っていますか？



- 不動産情報ライブラリの認知度は、全体で6%に留まった。
- 年代別の認知度では、30代が11.6%と最も多く、その他の年代では4~6%と、あまり差は見られなかった。

(問2)

(問1)で「1.知っている」とお答えいただいた方に伺います。あなたは不動産情報ライブラリを何で知りましたか？「12.その他」を選択した場合は、具体的にお書きください。【複数選択】



- 不動産情報ライブラリを知ったきっかけは、「土地総合情報システムを使っていたから」が26.9%と最も多く、「テレビ、新聞、インターネットニュース等から」(25.6%)、「国土交通省の広報等から」(19.2%)と続いた。

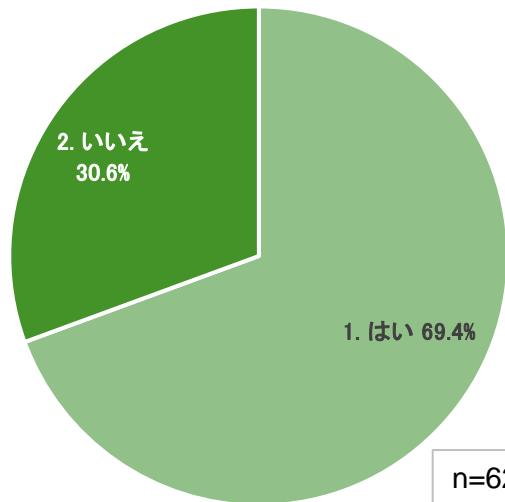
「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- 以前不動産関係の職業に就いていた
- 自分でインターネットで検索して見つけた等が挙げられた。

不動産情報ライブラリを利用したことはあるか

(問3)

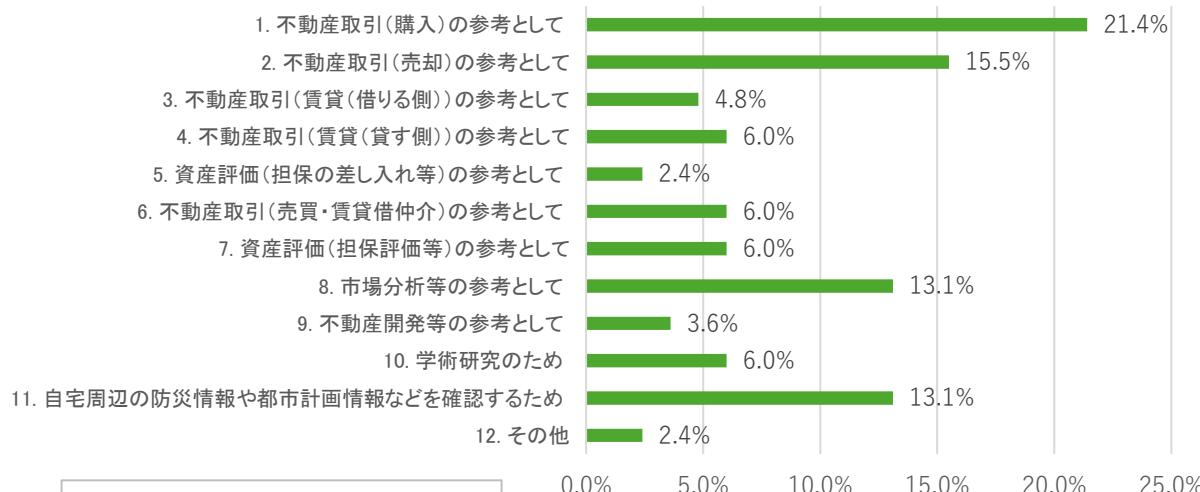
(問1)で「1.知っている」とお答えいただいた方に伺います。あなたは不動産情報ライブラリを利用したことはありますか？



- 不動産情報ライブラリを知っている人のうち、利用したことのある人は約70%となった。

(問4)

(問3)で「1.はい」とお答えいただいた方に伺います。あなたは不動産情報ライブラリをどのような用途で利用しましたか？
「12.その他」を選択した場合は、具体的にお書きください。【複数選択】



・回答数:84
・回答者数:43
・各項目を選択した回数を回答数で割り算出

- 不動産情報ライブラリを知っていて利用したことがある人の利用用途では、「不動産取引(購入)の参考として」が21.4%と最も多く、「不動産取引(売却)の参考として」が15.5%と続いた。

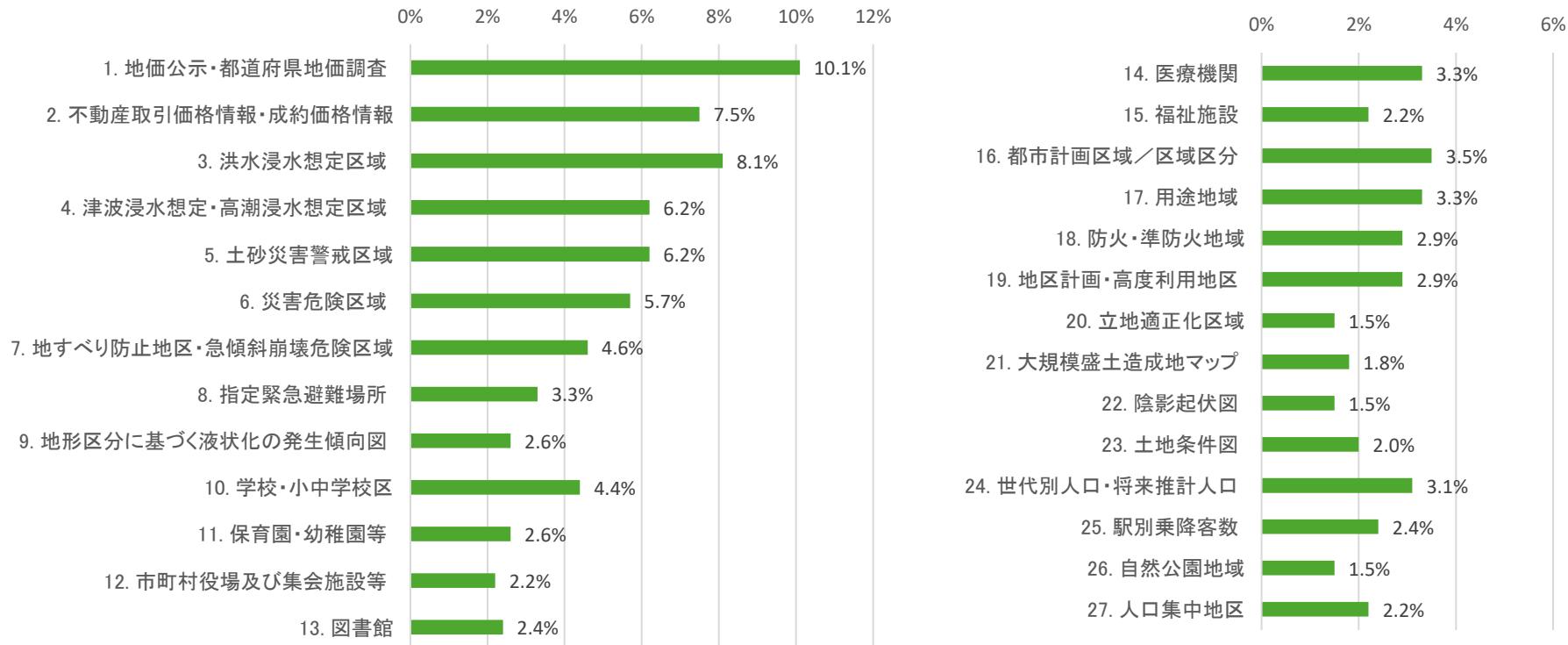
「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- ・ 有事に備えた行動計画を立てるため
- ・ どのような情報が掲載されているか概観した等が挙げられた。

(問5)

(問1)で「1.知っている」とお答えいただいた方に伺います。現在、不動産情報ライブラリでは、以下の27の情報をご覧いただけます。あなたが不動産情報ライブラリを利用した際に、役に立つと感じた情報を教えてください。

【複数選択】



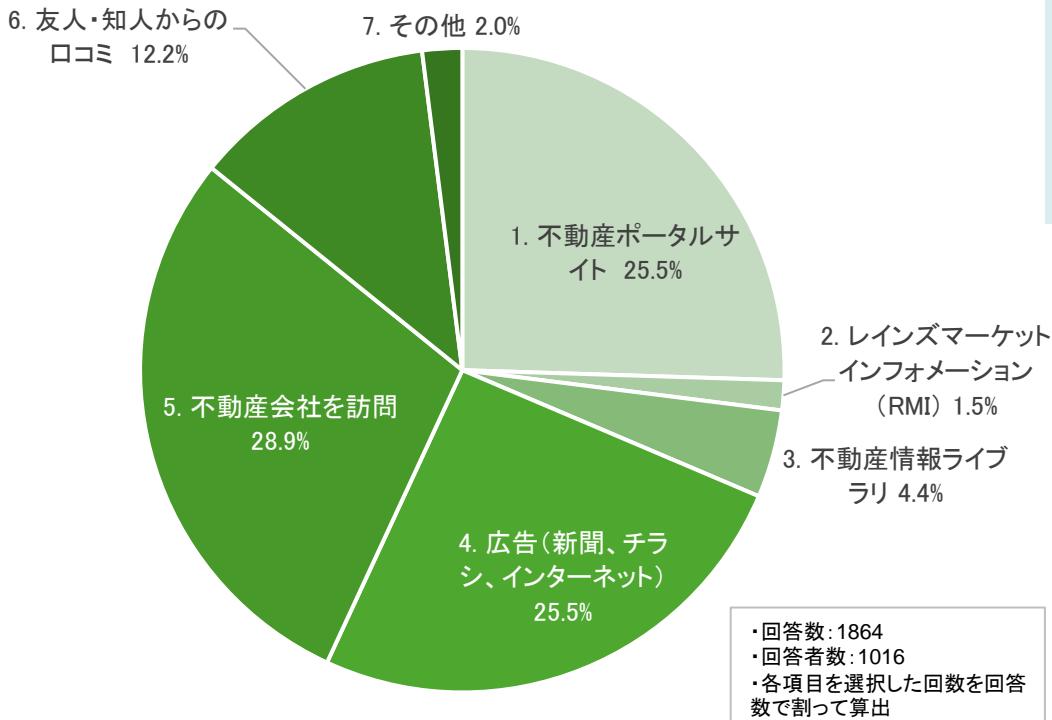
- 不動産情報ライブラリを知っていて利用したことがある人が、役立つと感じた情報は、「地価公示・都道府県地価調査」が10.1%と最も多く、「洪水浸水想定区域」(8.1%)、「不動産取引価格情報・成約価格情報」(7.5%)と続いた。

回答数:455
 回答者数:62
 各項目を選択した回数を回答数で割って算出

不動産に関する情報の入手方法

(問6)

あなたが普段、不動産取引(不動産売買など)や引っ越し等を行う場合、不動産に関する情報はどこから入手しますか?「7.その他」を選択した場合は、具体的にお書きください。なお、持ち家の方などで転居の予定がない方も、転居する場合を想定し、回答をお願いします。【複数選択】



- 不動産に関する情報を入手するには、「不動産会社を訪問」が28.9%と最多で、「不動産ポータルサイト」(25.5%)「広告(新聞、チラシ、インターネット)」(25.5%)と続いた。

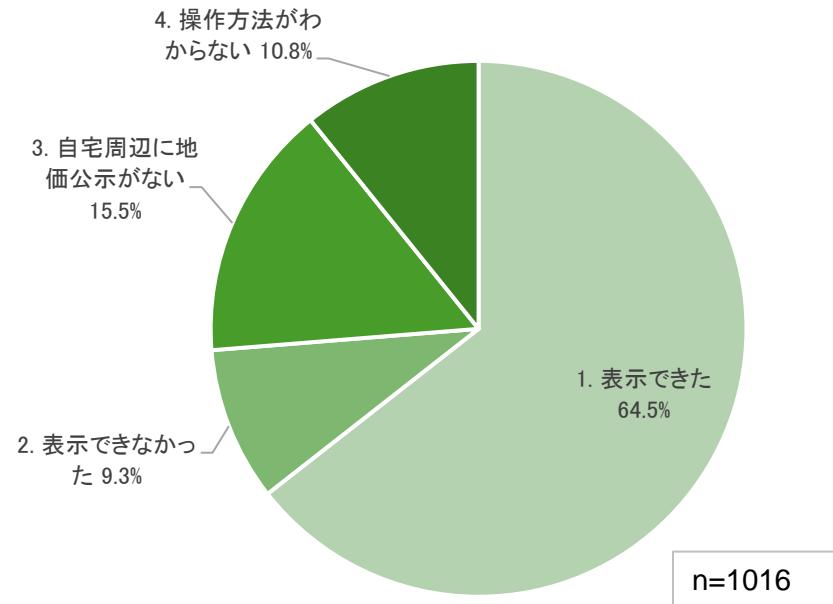
「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- 空き家バンク等のサイト
- 地域の不動産情報雑誌等が挙げられた。

不動産情報ライブラリの操作性

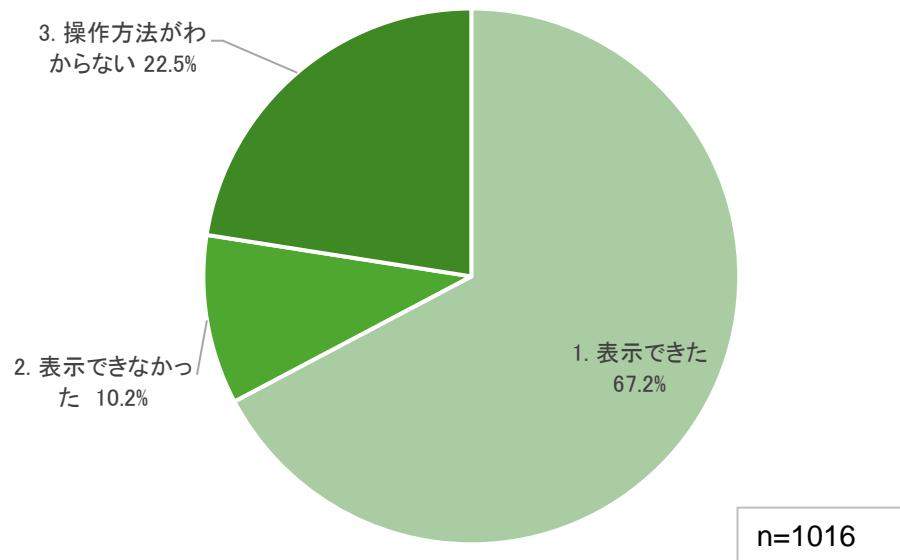
(問7)

不動産情報ライブラリの地図表示で、自宅周辺の令和7年度地価公示を表示してください。



(問8)

不動産情報ライブラリの地図表示で、自宅周辺の将来推計人口250mメッシュを表示してください。



- 不動産情報ライブラリの地図表示で、自宅周辺のR7地価公示を表示できた人は64.5%、将来推計人口250mメッシュを表示できた人は67.2%だった。
- 表示できなかつた人は、地価公示では9.3%、将来推計人口250mメッシュでは10.2%と差はないが、操作方法がわからなかつた人は、地価公示では10.8%、将来推計人口250mメッシュでは22.5%となった。

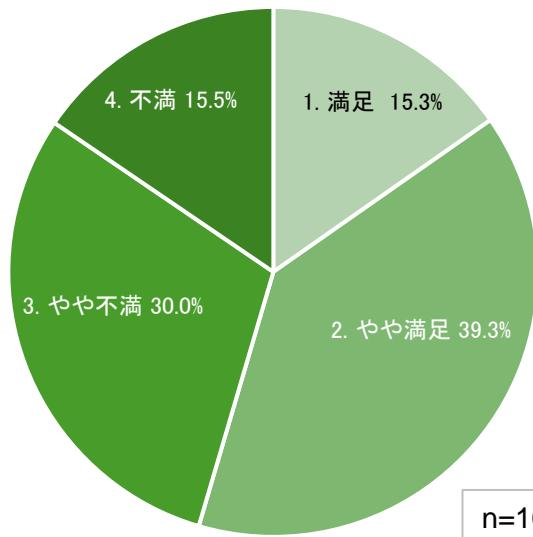
不動産情報ライブラリを利用した感想

(問9)

不動産情報ライブラリを利用した感想はいかがですか？

(問10)

問9で「3.やや不満」「4.不満」とお答えいただいた方に伺います。その理由をご記入ください。特段のご意見はない方は、そのように記載ください。



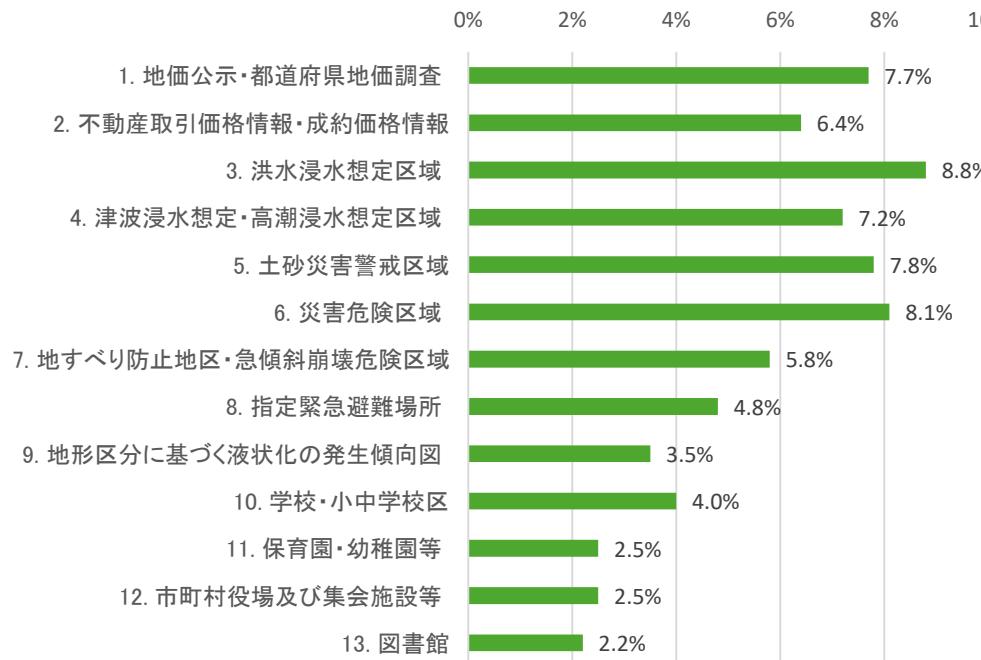
- 不動産情報ライブラリについて、満足・やや満足と回答した人は54%、不満・やや不満と回答した人は46%となった。
- 不満・やや不満と回答した人のうち、操作がわからないと感じた人は52%、使いづらいと感じた人は28%だった。

不満／やや不満 の理由

- 非常に専門的でわかりづらい。
 - 操作方法の説明が見つからない。
 - 画面が見にくい。
 - 住所検索が使いにくい。
 - 直感的に操作できない。
 - 自宅周辺に情報が見つからない。
- 等が挙げられた。

(問11)

(問1)で「2.知らない(わからない)」とお答えいただいた方に伺います。現在、不動産情報ライブラリでは、以下の27の情報をご覧いただけます。あなたが不動産情報ライブラリを不動産取引や住居選択において利用すると想定した場合、役に立つと感じる情報を教えてください。【複数選択】



- 不動産情報ライブラリを知らない人が役立つと感じた情報は、「洪水浸水想定区域」が8.8%と最も多く、「災害危険区域」(8.1%)、「土砂災害危険区域」(7.8%)と、防災情報が上位を占めた。

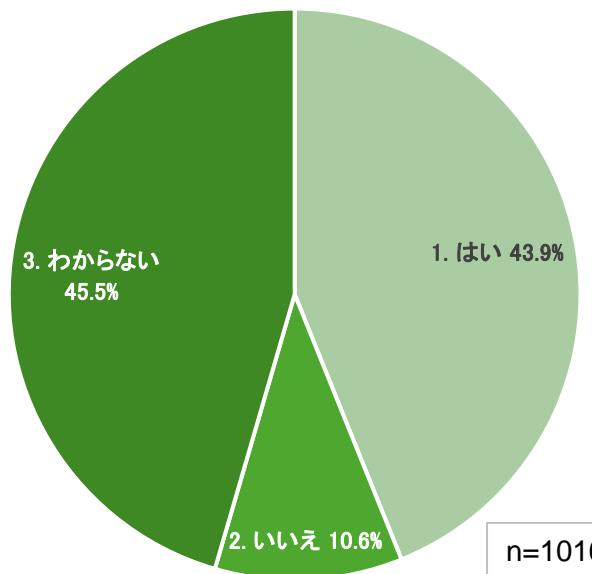
回答数:7473
 回答者数:954
 各項目を選択した回数を回答数で割って算出

(問12)

あなたが不動産取引や住居選択で不動産情報ライブラリを利用すると想定した場合、必要な情報は揃っていると感じますか？

(問13)

(問12)で「2.いいえ」とお答えいただいた方に伺います。必要な情報と、そう考える理由をお書きください。
特段のご意見はない方は、そのように記載ください。



- 不動産情報ライブラリについて、必要な情報がそろっていると感じている人は43.9%となった。一方で、わからないと回答した人が45.5%であったことや、問13で「不明」と回答している方、商業施設の情報や操作方法などすでに掲載されている情報の回答も複数見られた。

追加したほうが良い情報として挙げられた例

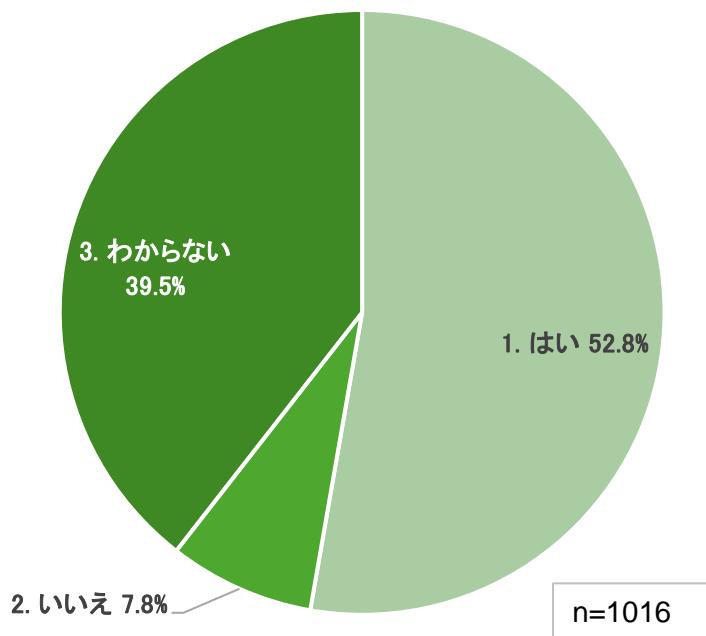
- 路線価
 - 治安情報
 - 商業施設の情報
 - 操作方法
- 等が挙げられた。

(問14)

現在公開している価格情報(地価公示・地価調査・取引価格情報・成約価格情報)の他に、路線価※の情報が掲載された場合、便利になると考えますか？

(問15)

(問14)で「1.はい」とお答えいただいた方に伺います。不動産情報が便利になる理由や、どのような用途でご利用するかなど、詳細を(例:地価公示・地価調査の地点がない場所の評価額がわかるようになる等)ご回答ください。特段のご意見はない方は、そのように記載ください。



- 不動産情報ライブラリに路線価を載せると便利になると考えた人は52.8%だった。

追加したほうが良い理由としては、

- 相続
- 情報が増えてよい
- 地価公示・地価調査がない地点の情報も得られる等が挙げられた。

※ご参考:路線価とは:https://www.rosenka.nta.go.jp/docs/ref_prcf.htm

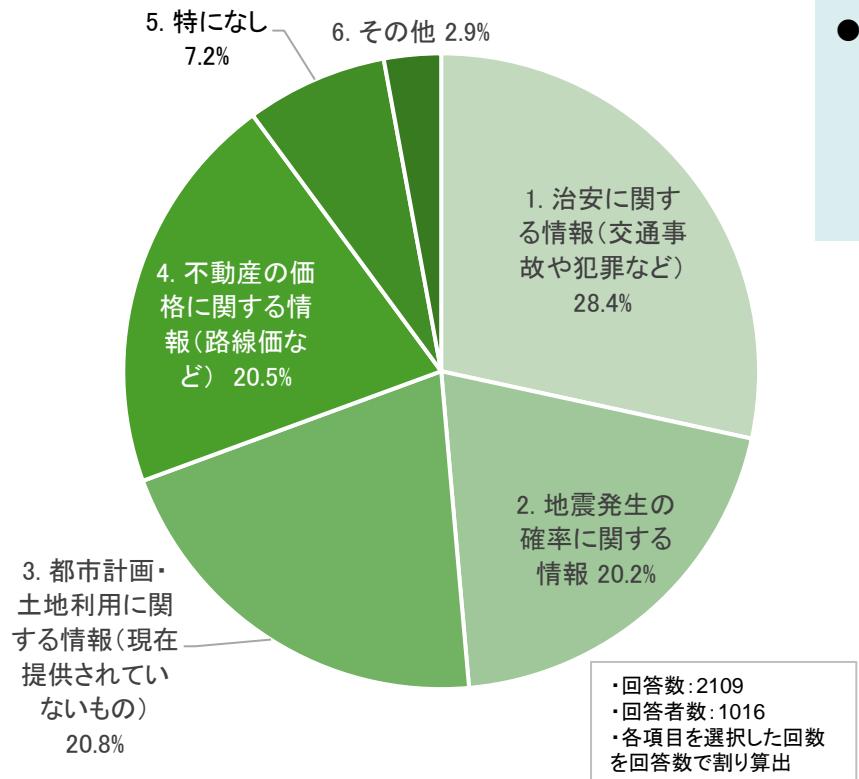
(問16)

今後、本サイトにおいて提供するとよいと思われる情報があればご回答ください。

「6.その他」を選択した場合は、具体的にお書きください。【複数選択】

(問17)

(問16)で「5.特になし」以外とお答えいただいた方に伺います。(問16)で選択した提供すると良いと思われる情報について、詳細があればご記入ください。(今後の検討の参考とさせていただきます)特段のご意見はない方は、そのように記載ください。



- 不動産情報ライブラリで今後提供するとよい情報として、「1. 治安に関する情報(交通事故や犯罪など)」が28.4%と最多で、「都市計画・都市利用に関する情報」(20.8%)、「不動産の価格に関する情報」(20.5%)、「地震発生の確率に関する情報」(20.2%)と続いた。

「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- 道路情報
 - 子育て支援等の地域コミュニティ情報
 - 災害履歴、断層
 - 空き家
- 等が挙げられた。

「特になし」以外を選択した方で挙げられた回答としては、

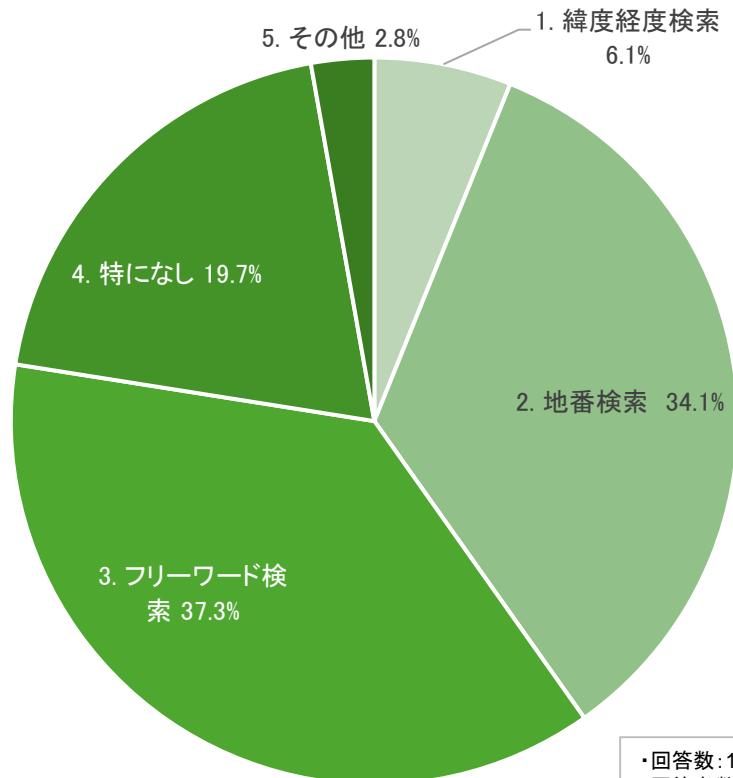
- 路線価
 - 野生動物の出現情報
 - 災害履歴
- 等が挙げられた。

不動産情報ライブラリの検索機能

(問18)

不動産情報ライブラリでは、現在、リストから住所を選択する地域検索が可能ですが、もし検索機能を充実させる場合、今後提供するとよいと思われる機能があればご回答ください。

「5.その他」を選択した場合は、具体的にお書きください。【複数選択】



- 不動産情報ライブラリの検索機能で今後提供するとよい機能としては、「フリーワード検索」が37.3%と最多で、「地番検索」(34.1%)が続いた。

「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- 郵便番号検索
- 現在地から検索
- 他のマップサービスとの連携
- クロス検索

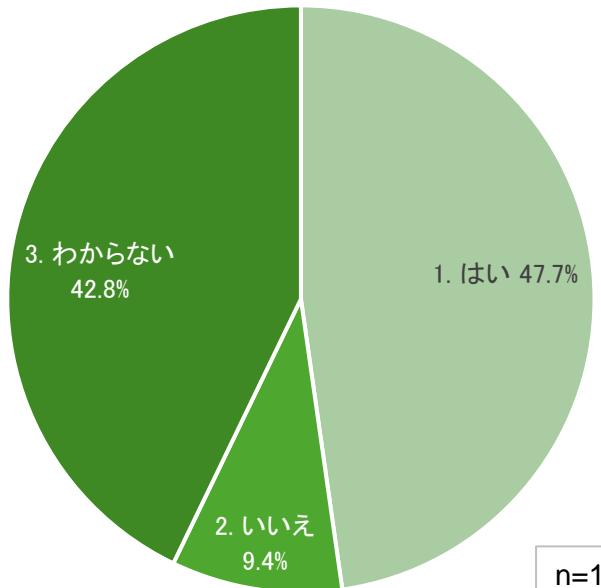
等が挙げられた。

・回答数:1333
・回答者数:1016
・各項目を選択した回数を回答数で割り算出

不動産情報ライブラリの用途

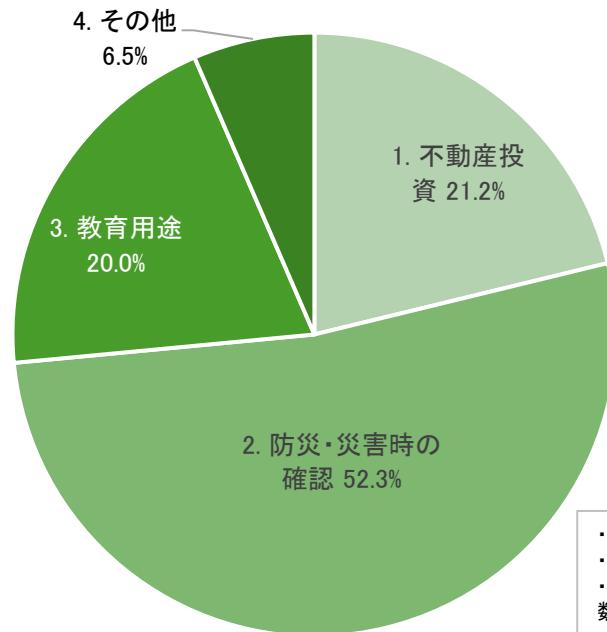
(問19)

不動産情報ライブラリは、不動産取引や住居選択以外の用途でも利用したい・できると思いますか？



(問20)

(問19)で「1.はい」とお答えいただいた方に伺います。不動産取引や住居選択以外に、不動産情報ライブラリはどのような利用ができると思いますか？「4.その他」を選択した場合は具体的にお書きください。【複数選択】



・回答数:780
 ・回答者数:485
 ・各項目を選択した回数を回答数で割り算出

- 不動産情報ライブラリを不動産取引や住居選択以外での用途でも利用したい・できると回答した方は、47.7%だった。他の用途としては、「防災・災害時の確認」が52.3%と最多で、「不動産投資」が21.2%、「教育用途」が20%となった。

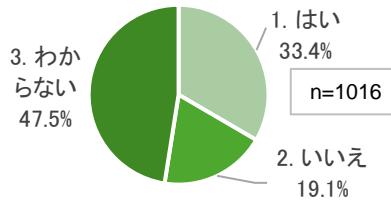
「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- 相続手続きに利用
- 地域の情報を知り、事業展開に役立てる等が挙げられた。

不動産情報ライブラリのおすすめポイント

(問21)

あなたは周りの人に不動産情報ライブラリの利用を勧めますか？

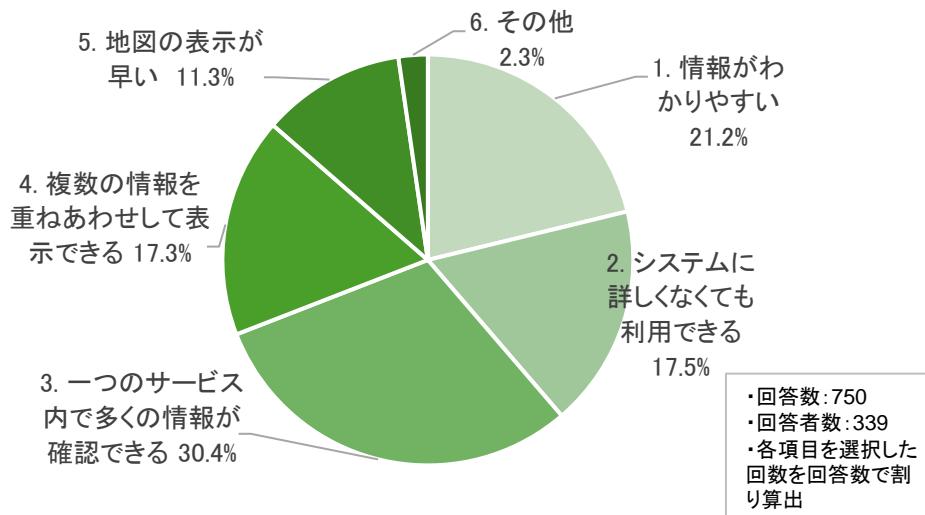


- 不動産情報ライブラリの利用を勧めると回答した方は33.4%、いいえが19.1%、わからないが最多の47.5%となった。

(問22)

(問21)で「1.はい」とお答えいただいた方に伺います。おすすめポイントがあれば教えてください。「6.その他」を選択した場合は、具体的にお書きください。

【複数選択】

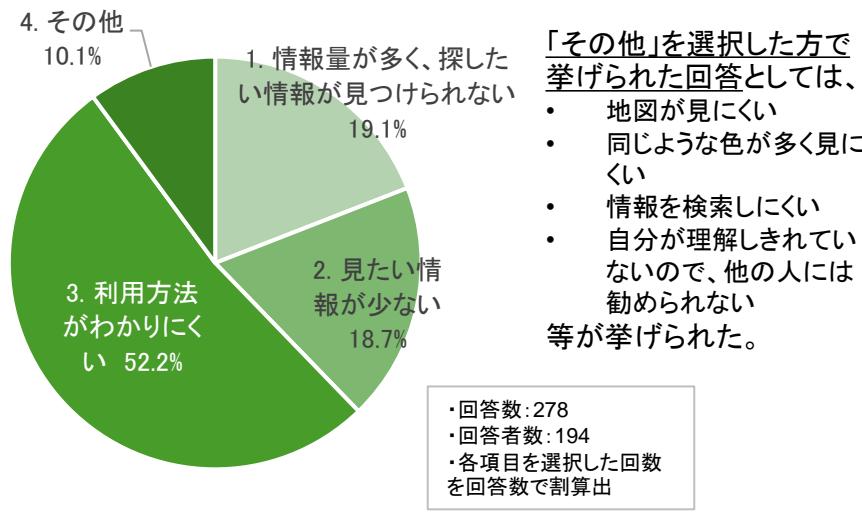


- おすすめポイントとしては、「一つのサービス内で多くの情報が確認できる」が30.4%と最多となり、「情報がわかりやすい」(21.2%)と続いた。
- 「その他」を選択した人では、「国土交通省が提供しているため、信頼性が高い」という回答があった。

(問23)

(問21)で「2.いいえ」とお答えいただいた方に伺います。直した方がよいポイントがあれば教えてください。「4.その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

【複数選択】



「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- ・ 地図が見にくい
- ・ 同じような色が多く見にくい
- ・ 情報を検索しにくい
- ・ 自分が理解しきれていないので、他の人には勧められない

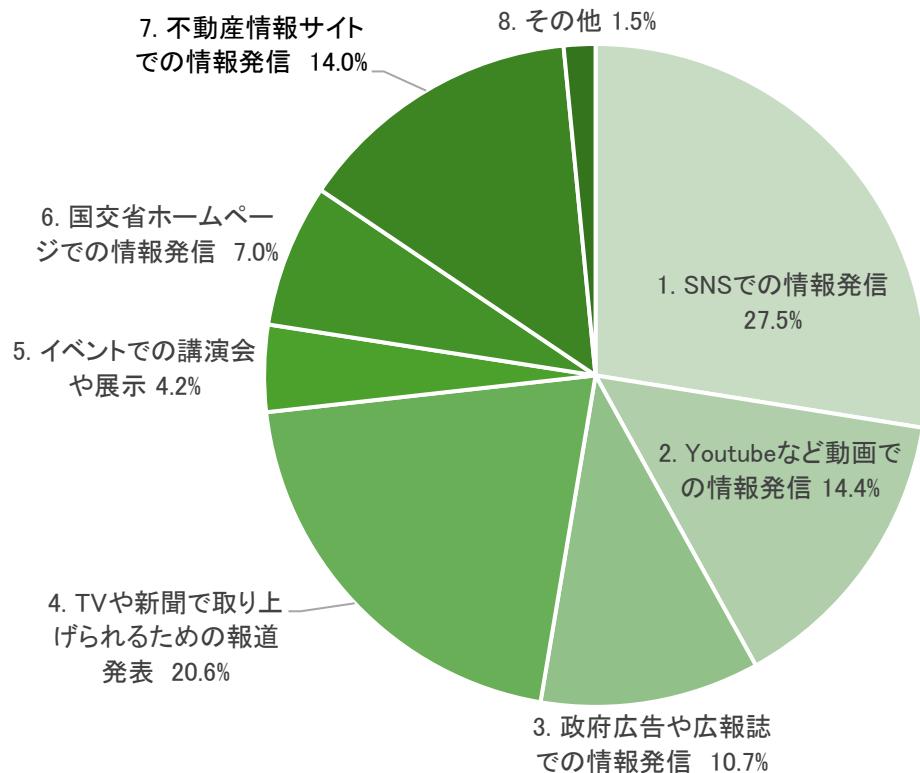
等が挙げられた。

- 不動産情報ライブラリを周りの人に勧められない理由として、「利用方法がわかりにくい」が52.2%と最多であり、「情報量が多く、探したい情報が見つけられない」(19.1%)、「見たい情報が少ない」(18.7%)と続いた。

不動産情報ライブラリの広報手段①

(問24)

不動産情報ライブラリの存在や活用事例をより多くの国民のみなさまにお知らせする方法として、効果的と思われる順に、選択肢を2つまでお選びください。「8.その他」を選択した場合は、具体的にお書きください。【複数選択】



- 不動産情報ライブラリの広報手段で効果的なものは、「SNSでの情報発信」が27.5%と最多で、「TVや新聞で取り上げられるための報道発表」が20.6%、「Youtubeなど動画での情報発信」が14.4%と続いた。

「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- ・自治体による発信
- ・学校の授業
- ・インフルエンサーによる発信
- ・まずはサイトのUIを改良するべき等が挙げられた。

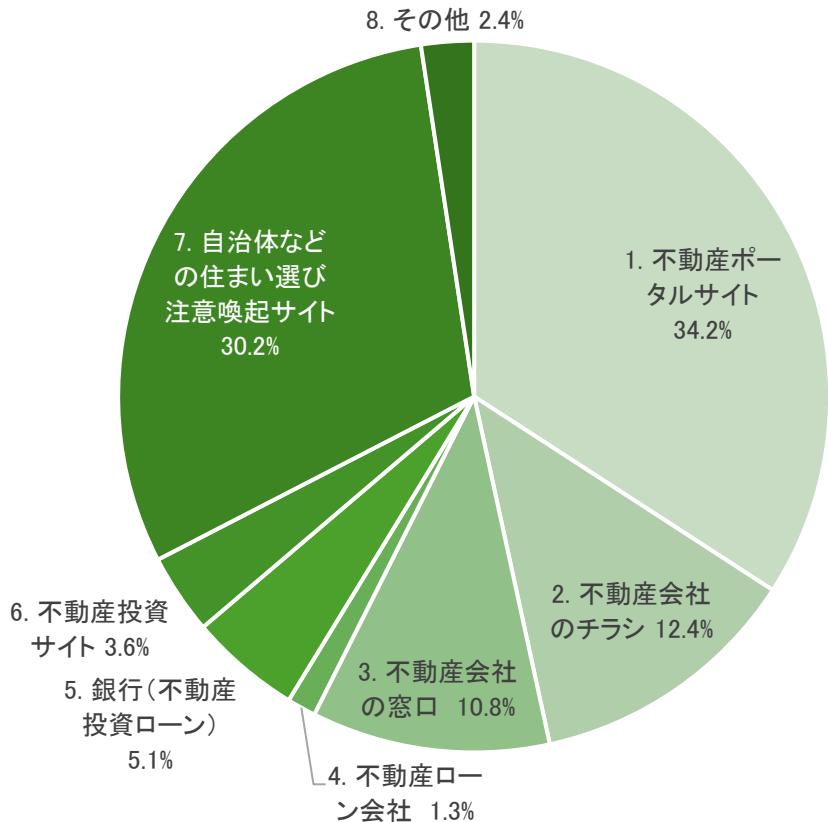
・n=1016

・1位を2点、2位を1点としてカウントし、全体の点数から割合を計算して算出

不動産情報ライブラリの広報手段②

(問25)

不動産ライブラリを利用したいと感じるのは、どの媒体で紹介された場合ですか。選択肢から2つまでお選びください。「8.その他」を選択した場合は、具体的にお書きください。【複数選択】



- 不動産情報ライブラリがどの媒体で紹介された場合に利用したいと感じるかについては、「不動産ポータルサイト」が34.2%と最多で、「自治体などの住まい選び注意喚起サイト」が30.2%と続いた。

「その他」を選択した方で挙げられた回答としては、

- テレビ、ラジオ、新聞等のメディア
- 自治体の広報紙等
- SNS

等が挙げられた。

・n=1016

・1位を2点、2位を1点としてカウントし、全体の点数から割合を計算して算出

不動産情報ライブラリへのご意見

(問26)

不動産情報ライブラリに関して、ご意見等ございましたらご自由にお書きください。【自由記述】

評価いただいたご意見

- ・ 今後、自宅購入や相続等の際にぜひ活用したい。
 - ・ 自分が住んでいる地域のことについてあまり知らなかつたので、知ることができ良かった。
 - ・ 引っ越し際に、土地勘のない場所の情報を得られるので良い。
 - ・ 様々な情報が一度に調べられるのはとても便利。
 - ・ 不動産投資の資料として十分活用できる。
- 等が挙げられた。

課題を指摘するご意見

- ・ サイトがあること自体知らなかつたので、もっと広報すべき。
 - ・ 操作方法がわかりにくい。
 - ・ 画面が見にくい。
 - ・ 専門用語が多くわかりにくい。
 - ・ 検索しにくい。
 - ・ 誰にどう使ってもらいたいのかをきちんと整理すべき。
 - ・ 「不動産情報ライブラリ」という名前だと不動産のことしか調べられないように思えるが、実際はそうではないため、そのようなことがわかるようにするとよい。
- 等が挙げられた。

アンケート結果まとめ

知名度と課題

- ・ **不動産情報ライブラリの知名度は6%**と、ほとんど知られていないことがわかった。(問1)
- ・ 取組については一定評価されており、**知名度をあげてより広く利用されるための広報を行うこと**が課題であることがわかった。(問26)

操作性と課題

- ・ 地価公示や将来推計人口を表示できた方が60%以上いる一方、「操作がわからない」「操作説明がわかりにくい」「検索しにくい」といった回答をいただいており、**操作性および操作の周知方法に課題がある**ことがわかった。(問7、問8、問18)

提供情報と課題

- ・ 「治安に関する情報」の掲載が求められていることがわかった。(問12、問13、問16、問17)
- ・ 路線価情報の掲載については、一定以上のニーズがあることがわかった。(問14、15)
- ・ 掲載情報については、「情報量が多く、探したい情報が見つけられない」という意見の一方、「見たい情報が少ない」という回答もあり、**現在の掲載情報が利用者のニーズにあっていない可能性がある**ことがわかった。(問23)

そのほか

- ・ 不動産取引自体が身近でないことや、不動産取引に関わる情報の用語がわかりにくいという意見があった。